

政策評価の観点から見た防災計画評価

牧 紀男¹

¹ 京都大学准教授 防災研究所 (〒602-0806 京都府宇治市五ヶ庄)
E-mail: maki@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp

東海・東南海・南海地震を見据え、多くの自治体で防災戦略計画が策定されている。計画を着実に実行するためには、計画策定時に計画の進捗状況の評価が可能な仕組みを組み込み、継続的に計画の進捗状況について評価を実施する必要がある。

本研究では、1) ニーズ評価、2) セオリー評価、3) 実施評価、4) アウトカム評価、5) 効率性評価という政策評価の5つの評価項目の枠組みに基づく、防災戦略計画策定・評価のあり方について検討を行うと共に、近畿の各都道府県で策定されている防災戦略計画の策定手法、策定後の評価の取り組みについて分析を行う。

また、検討結果の分析から今後の防災戦略計画策定・評価のあり方についての検討を行う。

キーワード：政策評価，防災戦略計画，東南海・南海地震，ステークホルダー参画